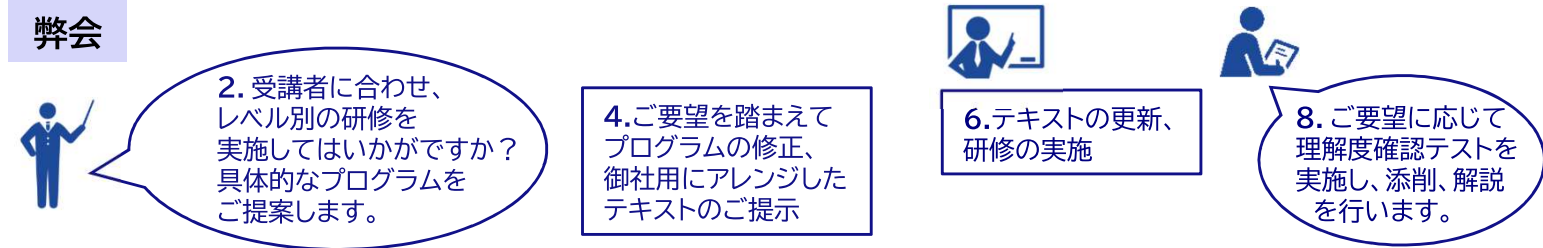
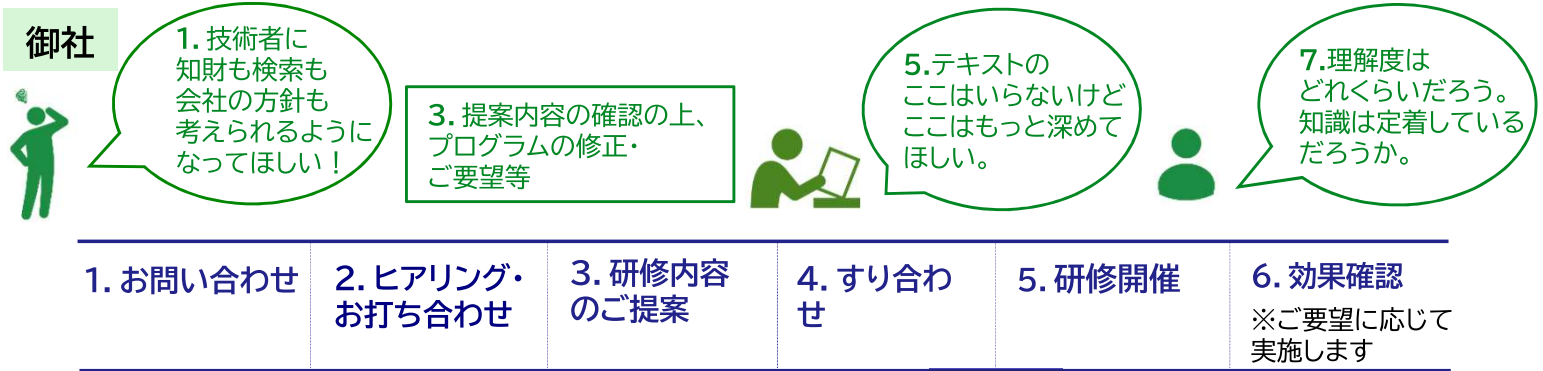


研修の具体例

◆概要

エンジニアを対象とした初級講座、中級講座を実施する。各講座の終了後に受講者へ課題を提示し、指定期間内にご提出いただく。ご提出いただいた内容を踏まえて、解説・まとめを行う。

◆打ち合わせ～開催までの流れ



ご提案

初級

目標：知財(特に特許)制度の基礎から活用まで段階的に理解を深める。

実施内容：

- ①講義→ビジネスにおける特許(知的財産)重要性
特許制度・特許情報活用、意匠制度、ソフトウェアの保護、ノウハウ、知財戦などの基礎
- ②課題→選択式の演習問題

中級

目標：研究開発成果を情報として捉え、情報管理の重要性を理解すると共に積極的に活用する意識を高める。

実施内容：

- ①講義→特許出願又はノウハウとして秘匿するかの判断基準
明細書の書き方、秘密保持契約書作成、営業秘密(ノウハウ)管理規定、知財ミックス、
パテントポートフォリオ、外国出願、標準化、パテントマップを踏まえた知財戦略など
- ②課題→記述式の演習問題

◆実施スケジュール

